

## 数学 教科書 の解答

- P 2 0 8 たしかめ 1 (1) 3分 (2) 33分以上36分未満  
(2) 階級 33分以上36分未満、 度数 23
- P 2 0 9 問 1 度数・上から順に 6・20・17・11・6・3・1  
問 2 (1) 10番目・・・どちらのルートも30分以上33分未満  
20番目・・・どちらのルートも30分以上33分未満  
30番目・・・どちらのルートも33分以上36分未満  
(2) Aルート：6.25%  
Bルート：9.375%
- 問 3 27～30・6 30～33・20 33～36・17  
36～39・11 39～42・6 42～45・3  
45～48・1
- 問 4 \*度数のもっとも多い階級が、AルートよりBルートのほうが、  
左によっている。  
\*AルートよりBルートのほうが、所要時間が多くかかるバスが多い。
- P 2 1 0 たしかめ 2 棒グラフの一番上の真ん中に点を取り、その点をつなぐ。
- P 2 1 1 問 5 所要時間が39分以上の階級の度数は、晴れや曇りの日が4台、  
雨の日は16台である。雨の日のほうが所要時間が多くかかるバス  
が多い。
- P 2 1 2 たしかめ 3 上から順に、0.00 0.00 0.00 0.00  
0.00 0.25 0.44 0.25 0.06  
合計 1.00
- 問 6 \*晴れや曇りの日は、所要時間が33分以上36分未満かかる割合が  
もっとも多く、全体の約36%である。また、所要時間が45分  
以上かかることはない。  
\*雨の日は、所要時間が45分以上48分未満かかる割合がもっとも  
多く、全体の約44%である。また、所要時間が42分未満で着く  
ことはない。
- P 2 1 3 たしかめ 1 Aルート・・・ $42 - 28 = 14$ 分  
Bルート・・・ $46 - 28 = 18$ 分  
AルートよりBルートのほうが範囲が大きく、所要時間に  
ばらつきがある。
- P 2 1 4 たしかめ 2  $2189 \div 64 = 34.2$ 分  
AルートとBルートの平均値は、ほぼ同じである。

たしかめ3  $(33 + 34) \div 2 = 33.5$ 分

Bルートの中位値は、Aルートの中位値よりやや小さい。

P215 たしかめ4  $(30 + 33) \div 2 = 31.5$ 分

Bルートの最頻値は、Aルートの最頻値より小さい。

問1 \*ゆうとさんの考えは中央値のことであり、平均値だけでは、ゆうとさんの考えが正しいかどうか分からないから、正しくない。

\*さくらさんの考えは、最頻値のことであり、平均値の34分かかるバスがもっとも多いかどうか分からないから、正しくない。

問2 ア、Aルートのバスを使う。(理由) Aルートの晴れや曇りの日の所有時間の範囲は14分で、Bルートの18分よりも小さくばらつきが少ない。また、Aルートはもっとも時間がかかっても42分で、Bルートの46分よりも短い。これらのことから、Aルートのバスを使う。

イ、Bルートのバスを使う。(理由) Bルートの晴れや曇りの日の所要時間の最頻値は31.5分でAルートの34.5分よりも短いから、Bルートのバスを使う。

P217 基本の問題 の解答は、P273にあります。